

年度評価シート

課名 高齢者福祉課

施設の名称 世代間交流センター	指定管理者名 (特非)ワーカーズコープ															
1 履行状況																
業務仕様書及び事業計画書に従って、概ね適切に履行されている。																
(1) 施設維持管理業務																
消防設備保守点検、ボイラー保守点検、空調設備保守点検（フロン漏えい点検含む）、水質検査、建築設備定期点検、遊具点検（南部）等、第三者委託により、施設維持管理書に従い、適切に漏れなく実施されている。																
(2) 施設利用状況																
平成30年度の世代間交流センター3館合計の年間利用者数は、前年度比104.7%となった。3館共に好調で、特に南部交流センターが1割以上の増加となり、顕著であった。でん伝体操参加者も同様の傾向で、南部の参加者が3割以上増えている。一方、浴室利用者数は、北部が微増、由比が微減となっている。																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>年間利用者数</th> <th>前年度利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>清水北部交流センター</td> <td>54,013人</td> <td>52,450人</td> </tr> <tr> <td>清水南部交流センター</td> <td>14,529人</td> <td>13,084人</td> </tr> <tr> <td>由比交流センター</td> <td>35,923人</td> <td>34,258人</td> </tr> <tr> <td>(合計)</td> <td>104,465人</td> <td>99,792人</td> </tr> </tbody> </table>		施設名	年間利用者数	前年度利用者数	清水北部交流センター	54,013人	52,450人	清水南部交流センター	14,529人	13,084人	由比交流センター	35,923人	34,258人	(合計)	104,465人	99,792人
施設名	年間利用者数	前年度利用者数														
清水北部交流センター	54,013人	52,450人														
清水南部交流センター	14,529人	13,084人														
由比交流センター	35,923人	34,258人														
(合計)	104,465人	99,792人														
(3) 事業実施状況																
ア 各種相談（生活相談・健康相談）																
各種相談業務は、毎月1回、場所と日時を設定し、おたより、館内掲示などにより広報し、主に職員が相談に応じた。北部交流センターは、年間延べ103人、由比交流センターは、同45人の相談があり、問題解決を図った点は評価できる。																
イ 介護予防・健康増進																
でん伝体操、ちゃきちゃき体操の定着、各館での「ノルディックウォーク」（北部・由比）、「カラオケ体操」（由比）、「卓球教室」（南部）は、利用者増につながっている。また、「ヨガ」、「エアロビ」、「音楽療法」も介護予防・健康増進の有効なメニューとして、各館で定着してきたことにより、利用者の増加が今後も見込まれる。																
静岡市地域包括ケア推進本部主催のフレイル予防プロジェクトには、世代間交流センター3館も参加し、フレイルチェックシートを使った健康度チェックを参加利用者に受けていただき、ご自身の健康（虚弱度）を知り、健康の意識を高めることに役立っている。																
ウ 老人クラブに対する援助等																
各館共に、単老の集いや連合会総会の援助が中心であるが、輪投げクラブなどのクラブ支援や大会のサポート、また、職員がシニアクラブの資料づくりなどの																

<p>援助を行っている。</p> <p>エ 自主事業</p> <p>2月に鯨ヶ池老人福祉センターで「11館合同輪投げ大会」を大型バスをチャーターして開催した。由比交流センターでは、蒲原老人福祉センターと合同で、「由比・蒲原芸能発表会」を2回開催した。また、「レトロ由比宿結い祭り」を利用者に実行委員を担っていただき、地域住民の協力も得ながら開催した。南部交流センターでは、月2回日曜日をカラオケの集いとして開放するなど、多くの自主事業を開催し、利用者の増加につなげている点が評価できる。</p> <p>オ 世代間交流事業</p> <p>各館では、節分（豆まき）、お花見、七夕、お月見、クリスマス会など季節的なイベントを高齢者が子どもや子育て世代などと交流ができるよう工夫して実施された。</p> <p>カ その他</p> <p>3月に開催された「心のバリアフリー・ハッピーシニアライフイベント」には、ブース出展（エコ・クラフト、スカットボール等）及びステージ出演（由比交流センター・蒲原老人福祉センターダンス等）で参加した。</p> <p>12月に「高齢者とのコミュニケーションの取り方」というテーマで接遇研修を全職員を対象に実施された。今迄、高齢者の心理など、気づけなかったこともあり、良好なコミュニケーションを取ることの重要性を再認識する場として効果的な活動であったと評価できる。</p>					
2	<p>市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）</p> <p>市民（利用者）からの意見・要望・クレームについては、一人ひとりの職員が市の窓口であるという意識と緊張感をもって対象者に丁寧な説明を行うと共に、迅速かつ適切に対応、回答するように努めている点が評価できる。</p>				
3	<p>市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価</p> <p>利用者アンケートは、世代間交流センター3館で、1,032人から回答をいただき、多くの利用者の意向などを施設運営に反映させるよう努めた。3館合計の施設利用満足度は、満足が63.8%、やや満足が29.8%で、職員対応満足度は、満足が73.6%、やや満足が19.3%で、該ね利用者に満足いただいていると評価される。3館合計の清掃状況については、行き届いているが67.3%、普通が27.4%で、前年度より改善傾向にあるため、今後のさらなる努力に期待したい。</p>				
4	<p>指定管理者の経理状況の評価</p> <p>指定管理業務の収支状況については、概ね予算の通り適正に執行されている。また、精算制修繕費の実績額については、上限額を若干上回る適正額であった。</p>				
5	<p>総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）</p> <table border="1"> <tr> <td>前年度事務事故発生の有無</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無</td> <td>無</td> </tr> </table> <p>・ 世代間交流センターは、高齢者だけが利用する施設ではなく、年齢を問わず利用することができることをよりアピールし、高齢者以外の市民や男性の利用促進も意識されたい。また、高齢者が長年に渡って培われてきた知恵や技、あるいは昔の遊びや体験などを異世代に伝承していくようなふれあいをもった世代間交流事業を推進していくことが課題である。</p>	前年度事務事故発生の有無	無	前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無
前年度事務事故発生の有無	無				
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無				

- ・ 安心・安全な施設の管理・運営を最優先させていた。事故対応については、マニュアルに従い、適切に対応を行っていた。救急救命講習は、全職員が受講するよう努めた。

防災訓練は、消防設備点検業者を交えて実施されるなど、管理運営に対する高い意識は評価できる。

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。